

平成24年度事業報告

社会福祉法人 シルヴァーウィング

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田

短期入所生活介護 みさよはうす土支田

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田 事業報告

1. はじめに

みさよはうす土支田は、平成 22 年 4 月開設以来、ご利用者一人ひとりの個性を大切にし、きめ細やかなサービスをモットーに取り組んで参りました。地域に開かれた、地域の方に愛される特別養護老人ホームとして順調に推移致しております。

平成 24 年度におきましては、居室の入居率は、職員の全員の営業努力もあり年間を通じ 100%を維持することが出来ました。

今年度も職員一丸となり高品質で付加価値の高い施設の運営を実施致します。

2. 事業実績について

特養は定員 30 名に対し、月平均入所者実人員は 28 人であった。平均介護度は、男性 4,0 女性 3,8 である。また、年度末現在の平均年齢は、男性 85,2 歳、女性 87,0 歳であり、男女合計の平均年齢は、86,6 歳である。

24 年度の退所者は、7 人で、理由は、病気入院による退所が 3 人、死亡が 4 人となっている。

3. サービス内容について

(1) 食事介助

入所者の食事摂取状況に応じて、食事の見守り、食事介助を行い、誤嚥や嚥下状態の低下傾向のある入所者については、適切な食形態の検討を行い、経口摂取の維持に努めた。

また、体調等を考慮し、居室配膳や居室での喫食を実施した。

(2) 入浴介助

御本人の身体状態に合わせ、特浴、チェアー浴、一般浴の3機種の中からより安全な入浴方法を選び、週3回の入浴を実施した。

(3) 排泄介助

おむつ交換は、1日6回の定時交換のほか、随時の個別確認、及びナースコールによる要請により実施した。

(4) 健康管理

嘱託医による週1回の往診と、通院治療が必要な場合は、家族の協力等により受診し、入所者1人ひとりが、心身共に健康で充実した日常生活を送れるよう健康管理を行った。

今期も、9月に健康診断を実施。10月は、家族の承諾によりインフルエンザ予防接種を実施。11月は、希望者のみ肺炎球菌ワクチン接種を実施した。生活の場における保湿、室温管理、脱水予防などを徹底した。一方職員のうちうがい、手洗い、マスクの着用を早期に励行し予防を徹底した。

(5) レクリエーション

月1回の誕生会、その他歌（童謡、懐メロ）、公園への散歩、お化粧品、お茶会、ボーリング、風船バレー、棒体操、ぬり絵、折り紙、映画鑑賞など、入浴日を除く毎日、職員が中心となり、実施した。

4. 各種委員会

①リハビリ委員会、②栄養委員会、③排泄・褥瘡対策委員会、④身体拘束廃止委員会、⑤ケアプラン委員会、⑥環境・感染症対策委員会、⑦事故防止委員会、⑧防災、安全対策委員会、⑨レクリエーション委員会等を定期的開催した。

5. 職員研修

4月～8月にかけて、職員のスキルアップ研修を実施。職員の意識及び資質向上に役立てた。

6. 短期入所生活介護

ショートステイは定員2名であるが、特養入所者の入院等による空室利用により、利用者数は、男性80名、女性193名、合計で273名（実人数）であった。平均年齢は、男性83,3歳、女性85,5歳、男女合計の平均年齢は、84,9歳であった。

特養・ショート合計の年間稼働率は、100,2%である。ショート利用者の平均要介護度は、男性3,1、女性3,6で、男女合計の平均要介護度は、3,4であった。利用者もリピーターの方が増え、練馬区以外の方も多く利用された。

7. 今後の課題

介護サービスの安全性の確保とサービスの質を向上させるため、今年度も職員の研修を実施し、利用者には選ばれる介護サービスを提供できるよう努めていきたい。

ショートステイの稼働率については、長期入居者が、疾病により入院した場合、その部屋を利用希望者に活用していただくよう居宅介護支援事業所へ積極的に情報提供し、コミュニケーションを図り、空室を作らないよう有効活用を心掛けている。